

教科名	英語	科目名	論理表現Ⅱ	学年	2年	単位数	文3 / 理2
教科書	Big Dipper English Logic and Expression I・II		副教材	Big Dipper English Logic and Expression I・II ワークブック			

1 科目の目標

スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことなどができるようになる。

2 学習について

1. 予習

前の時間に行った部分や、現在学んでいる Lesson を毎時間復習し、学んだことを思い出すことで定着化を促進する。

2. 授業における学習方法

授業は積極的に理解に努め、自らコミュニケーションを図る姿勢で取り組む。ノートは復習しやすい取り方を念頭に置く。いつあてられてもいいように各自で与えられた問題に向き合い、できる部分まで解いていく。習った文法事項を使って自分自身の考えを英語で表現し伝えられるように努力する。

3 学習計画

考査		単元名 (学習項目)	学習内容 (ねらい)
前期	前期 中間	I Lesson15-18 分詞、比較級、最上級、関係代名詞	分詞、比較の表現を使えるようにする。 関係代名詞を使い、二文を一文にできるようにする。
	前期 期末	I Lesson 19-21 関係副詞、仮定法、接続詞 II Part1 Lesson 1-5 時制、未来、完了形	仮定法を使ったいろいろな表現を使えるようになる。 日本にはない細かな時制の違いに焦点を当て、区別できるようにする。完了形と現在形、過去形の違いを理解し、使い分けられるようにする。
後期	後期 中間	II Part1 Lesson 6-11 受動態、不定詞、動名詞	受動態を使ったいろいろな表現を使い分けられるようにする。 不定詞、動名詞の表現を使い分けられるようにする。
	学年 末	II Part1 Lesson 12-16 関係詞、仮定法、話法 II Part2 Lesson 1-2	関係詞、仮定法、話法について理解を深め、使い分けができるようにする。 英語で好き嫌い、希望・欲求を述べることができる。

4 観点別評価

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段階から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。	日常的话题や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現することができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

5 評価方法

計 70時間 (50分授業)

上記の観点を踏まえ、定期考査、課題考査、授業内例文テストの成績、提出物、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…60% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…10%